

令和4年度果樹茶業研究会
「常緑果樹研究会」（オンライン） 開催要領

1. 趣 旨

我が国のカンキツ、特にウンシュウミカンは食べやすく、他国産より味と外観に優れることから、近年はアジア富裕層による需要が増加している。しかしながら生産現場では、人手不足で生産力が衰退し続けているのみならず、温暖化による異常気象の頻発で高品質果実の安定生産が困難になるなど、またとない商機を逃しかねない状況にある。この現状を打開するため、技術発展の著しいAI・IoT等のスマート技術を導入して、省力・軽労化を図るとともに高品質果実を安定的に生産する取り組みが各地のカンキツ産地で積極的に展開されている。そこで、本年度の常緑果樹研究会では「カンキツにおけるスマート農業の展望」をテーマに話題提供いただき、今後のカンキツ研究に役立つ。

栽培分科会では「カンキツの高品質安定生産」をテーマに果実の高糖度化技術を紹介いただき、今後の技術展開について議論する。

2. 日 時

令和4年8月25日（木） 13：10～15：35（全体会議）
15：45～17：00（栽培分科会）

注1）詳細は別紙1の進行予定表のとおり。

3. 場 所

ZoomによるWeb会議

4. 主 催

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門

5. 内 容

別紙2のプログラムを参照のこと。

6. 参集範囲

果樹関係行政機関、国立研究開発法人、公設試験研究機関、学識経験者、カンキツ研究ネットワークを構成する者、カンキツ新技術・新品種研修受講者、JA等関係者、マスコミ関係者等

7. 出席申込方法

共通出席申込書（令和4年度常緑果樹研究会）に必要事項を記載し、**令和4年7月27日（水）までに（必着）**、電子メールで jyouryoku_kajyu@naro.affrc.go.jp に送付する（申込書をExcelまたはPDFで添付）。

8. 問合せ

下記の出席申込先に電子メールまたは電話で問い合わせる。

〒424-0292 静岡市清水区興津中町 485-6
農研機構果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域
常緑果樹研究会事務局

e-mail : jyouryoku_kajyu@naro.affrc.go.jp TEL : 054-369-7100

別紙1 進行予定表

8月25日

常緑果樹研究会全体会議 13:10~15:35

13:10-13:15 挨拶等

13:15-15:35 テーマ「カンキツにおけるスマート農業の展望」
(1講演35分:30分講演+5分質疑)

13:15-13:50 温州みかんの生産から出荷をデータ駆動でつなぐスマート農業技術一貫体系

13:50-14:25 AIによる温州みかん糖度予測

14:25-15:00 養水分制御を基盤とした樹体管理技術の確立による高品質カンキツ果実連年
安定生産

15:00-15:35 カンキツ栽培における通信型マルドリシステムの開発

15:35-15:45 休憩

常緑果樹研究会栽培分科会 15:45~17:00

15:45-16:55 テーマ「カンキツの高品質安定生産」
(1講演35分:30分講演+5分質疑)

15:45-16:20 根域制限技術をベースとした新たな技術開発

16:20-16:55 甘くて美味しいミカンを作る NARO シールディング・マルチ栽培

17:00 閉会

別紙2 プログラム

8月25日(木) 午後(13:10~15:35)

＝全体会議＝

～「カンキツにおけるスマート農業の展望」～

座長：農研機構果樹茶業研究部門 塩谷 浩

1. 温州みかんの生産から出荷をデータ駆動でつなぐスマート農業技術一貫体系
長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門 山下次郎
2. AIによる温州みかん糖度予測
農研機構農業情報研究センター 森岡涼子
3. 養水分制御を基盤とした樹体管理技術の確立による高品質カンキツ果実連年安定生産
九州沖縄農業研究センター 吉岡照高
4. カンキツ栽培における通信型マルドリシステムの開発
山口県農林総合技術センター柑きつ振興センター 岡崎芳夫

8月25日(木) 午後(15:45~17:00)

＝栽培分科会＝

～「カンキツの高品質安定生産」～

座長：農研機構果樹茶業研究部門 深町 浩

1. 根域制限技術をベースとした新たな技術開発
佐賀県果樹試験場 田島丈寛
2. 甘くて美味しいミカンを作る NARO シールディング・マルチ栽培
農研機構果樹茶業研究部門 岩崎光徳